

平成31年 第2 予算審査特別委員会討論要旨

◎ 会 派 清 新

会派清新を代表しまして、第2 予算審査特別委員会に付託されました議案第2号から第8号並びに関連議案の全てを可とする立場で討論いたします。

5年前、減少を続ける若年女性人口の予測から導き出され896の自治体が消滅しかねないという「地方消滅」は衝撃のデータでした。若者が子育て環境の悪い東京圏へ移動し続けた結果、日本は人口減少社会に突入しました。本市を含め多くの地方では既に高齢者すら減り始め、大都市では高齢者が激増していきます。その中で地方に人々がとどまり、希望どおりに子供を育てる社会へ変わるための戦略を考える地方創生がスタートし、2019年度は5年目を迎えます。人口減少を少しでも克服し、未来にわたりまちの成長を維持するため、本市においても知恵を出さなければなりません。

そのような中予算編成に当たられました市理事者並びに関係職員の皆様に敬意を表するとともに、平成の御代が幕を下ろす新年度に向けて、諸課題に対するより一層の努力をされますことをお願いいたします。

各特別会計、事業会計におきましては人口減少が進む中、健全経営に向けて努力されてはいますが、今後財源の確保は一層厳しくなっていきます。特に病院事業会計は、医師不足、看護師不足による病棟の一部閉鎖など厳しい経営環境にあります。医師、看護師の働き方改革を進めつつ、病院スタッフ一丸となり市民の健康を守るためにも赤字体質からの脱却を目指し努力されることをお願いし、会派清新の賛成討論といたします。

◎ 会 派 み ど り

会派みどりを代表し、第2 予算審査特別委員会に付託されました議案第2号から第8号の平成31年度特別会計5件、事業会計2件、議案第18号及び議案第21号の全てを可とし、若干の意見を付して討論いたします。

滝川市の経済情勢は依然として厳しい中、各会計の執行においても財政健全化計画により理事者、職員の財政健全化に取り組む姿勢に敬意を表します。

本年は、骨格予算となっているが、各会計では一般会計からの繰入金、基金の切り崩しが散見され依然厳しい予算編成となっている。市民と行政が一体となったまちづくりを力強く推進するためにもしっかりと市民が納得いく事業目的、効果を鮮明にし、市民の健康と生活の向上と安心できるまちづくりに努めていただきたい。

1. 国民健康保険特別会計

国民健康保険税の公平に努め、収納率向上に引き続き努力されたい。

事業展開では特定健康診査受診率の向上に努め、市民の健康増進こそが本会計の健全化につながるため、より一層の取り組みを求めます。

また、低所得世帯に対しては、現状を十分把握した中での執行に努められたい。

2. 公営住宅事業特別会計

滝川市ストック総合活用計画に基づき市営住宅の建て替えが予定どおり進んでいますが、公営住宅の空き状況の解消に向け、入居率向上に努力願いたい。

また、指定管理が行われているが、利用市民からのニーズに応える努力を望みます。

公平性の確保を図る上からも滞納者への徴収業務に一層努力されたい。

3. 介護保険特別会計

今後、ますます高齢化が進む中で介護の多様なニーズがあるが、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送る事業を望みます。

多岐にわたる介護サービス提供をするに当たっては、利用者の立場に立ったサービスの充実を図りたい。

4. 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計では、高齢化社会という現実から現行制度の中で予算の執行に当たっては適正に対応するとともに、市民の高齢者福祉の向上に対し広域連合との連携を深めるよう努めていただきたい。

5. 土地区画整理事業特別会計

完成により地域の利便性の向上が期待されるが、区画整理された土地の有効活用を望みます。

6. 下水道事業会計

今後の人口減少が進む中、下水道事業を支える利用者も当然減少すると思われる。多くの管や施設等の更新が必要となってくるが、収入減が予想されるが、利用料の増加を招かない方策を検討していただきたい。

7. 病院事業会計

地域の基幹病院としての使命を果たすべく、地域の医療機関との連携を強化するとともに、医師、看護師の安定的かつ継続的な確保と職場環境整備に十分な対応を図っていただきたい。

厳しい経営環境に置かれているが、一般会計繰入額が財政基準以下の状況が続いているが、本市の一般会計も依然と厳しい状況にあり、繰入の増額は難しいと思われ、より一層の経営努力を求めます。

以上で、会派みどりの賛成討論とさせていただきます。

◎ 新 政 会

新政会を代表して第2 予算審査特別委員会に付託されました平成31年度予算、関連議案第2号から第8号まで、議案第18号及び第21号の9件について可とする立場で討論をいたします。

初めに、厳しい財政状況の中、経費節減など無駄を省き、効率的かつ効果的な予算編成に尽力をされた市理事者並びに職員の皆様に敬意を表します。

さて、平成31年度は、統一地方選挙の年であります。当初予算については、継続事業を中心とした骨格予算となります。「滝川市財政健全化計画」と「滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終年度の予算でもあります。引き続き、地方創生と財政健全化を両輪として進めていく必要があると考えます。これは車に例えれば、ブレーキとアクセルの働きであります。どちらも重要であります。

さて、本年は平成最後の年であります。行政、議会、力を合せて滝川市を力強く前に進める必要があると考えます。

以下、若干の意見を付して、討論といたします。

1. 病院事業会計

地域の基幹病院としての使命を果たすべく「滝川市立病院経営計画」に基づき、日々努力されていることに敬意を表します。

さて、滝川市立病院は4月から内科の一部44床が休床になるということが発表になりました。滝川市民に大きな衝撃が走っております。市立病院は言うまでもなく、地域の基幹病院であります。その使命を全職員が共有し、滝川市立病院経営計画の着実な実践が必要なときであります。

市立病院の医師、看護師の確保は、病院の健全経営の視点からも最重要な課題と考えます。市理事者、病院、市内医療機関連携を密にして、その解決に全力を挙げられたい。

2. 公営住宅事業特別会計

住宅ストックの適正管理について、今後10年を見据えた「滝川市住生活基本計画」、「滝川市公営住宅等長寿命化計画」、「滝川市耐震促進計画」が打ち出されているところです。いずれも、非常に重要な政策と考えますが、地域政策的に考えると、その上位計画である「滝川市総合計画」、「滝川市都市計画マスタープラン」があります。その中で都市核の1つである江部乙町と東滝川地区について言えば、公営住宅は、非常に重要な位置を占めております。今回の審査において、公住全体の入居率86.36%で233戸が空いている状況です。空き家が非常に多い状態です。特に東滝川、江部乙に空き家が多いことが判明いたしました。

今後、住宅政策において、地域政策的な視点を入れる必要が重要と考えます。この地域にとっては、長年、培った地域コミュニティの崩壊につながる重要な問題であります。

また、全体的に入居率を改善する抜本的な対策が必要と考えます。

以上、申し上げて、新政会を代表しての討論といたします。

◎ 公 明 党

公明党を代表しまして、第2予算審査特別委員会に付託されました議案第2号から議案第8号並びに関連議案の全てに対して賛成の立場で討論いたします。

平成31年度は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「財政健全化計画」の最終年度を迎えます。

私は、これまでの4年間の総仕上げとなるとともに、未来につなぐ1年としていかなければならないと考えております。

今回の予算編成は、骨格予算にもかかわらず、ご苦勞されました理事者、職員の皆様に敬意を表します。

以下、市長に対し1点申し上げます。

本市を初めとする中空知地域全体の人口減少に歯止めがかからない現状において、病院事業については近隣の自治体病院との経営統合を視野に新年度から仮称なかそらち公立病院設立協議会を設置して地域の医療を守る体制を築いていただくことを期待し、討論といたします。

◎ 日 本 共 産 党

私は、日本共産党を代表して、第2予算審査特別委員会に付託された平成31年度、議案第6号 土地区画整理事業特別会計予算を否とする立場で、また議案第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号を可とする立場で討論を行います。

まず初めに、大変に厳しい財政状況の中で、市民生活を第一に経費節減などで無駄を省きつつ効率のよい行政運営に当たられた市長、理事者、職員の皆様に敬意を表します。

以下、若干の意見を付させていただきます。

土地区画整理事業特別会計については、道路については平成31年度中の開通が見込まれており、質疑は行いませんでしたが、財政状況が厳しい中で、将来にわたる道路の維持管理について、きちんとした維持ができるのか疑問です。

病院事業会計については、患者数の減少や看護師不足による病棟の一部44床を休ませることがありながらも、病院職員が一体となって健全運営に取り組んでおられることを評価いたします。

以上、日本共産党の討論といたします。